



住みたくなるまち 訪れたいまち
あったか熱田

熱田区将来ビジョン

(令和2年度～令和5年度)

君を待つまち 熱田



atsuta brand japan

目次

1	区将来ビジョン	1
2	区の概要	2
3	熱田区の強みと課題	3
4	基本目標とめざすべき将来像	7
5	将来像の実現に向けた施策と成果指標	
	将来像1 安心・安全で快適なまち	8
	将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち	11
	将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち	13
	将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち	18
	区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所	20
6	区内公所(署)の施策	22

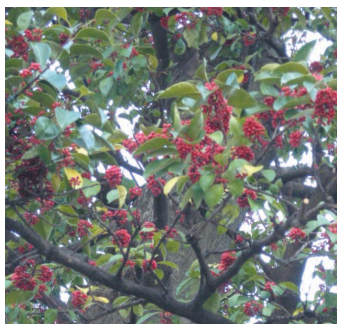


熱田区の花

ハナショウブ

【花ことば：うれしい知らせ】

※白鳥庭園、神宮東公園 などで見られます。

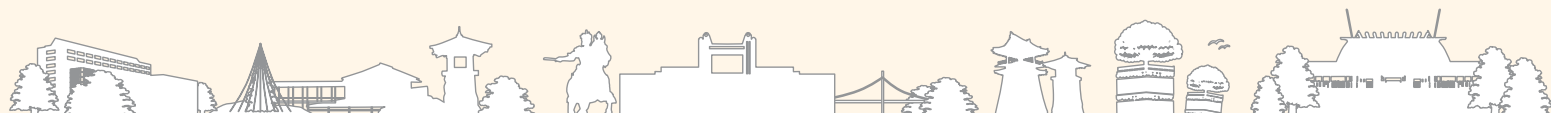


熱田区の木

クロガネモチ

【花ことば：魅力、寛容】

※沢上交差点、神宮東公園 などで見られます。



熱田を良くしたいという「あつた人(びと)」の思いを受け、恵まれた歴史的資産、文化的風土などを活かしながら 4 つの将来像と区政運営という 5 つの柱のもとで「住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田」の実現を図ることとし、この将来ビジョンを取りまとめました。

➡ 1 区将来ビジョン

(1) 趣 旨

区将来ビジョンとは、平成 29 年 3 月に名古屋市が策定した「区のあり方基本方針」に基づき、住民参画の下、各区が策定する個別計画であり、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。

(2) 計画期間

令和 2 年度から令和 5 年度までの 4 年間

(3) 区政運営方針との関係

区将来ビジョンで取りまとめた中長期の施策の方向性に基づき、年度ごとの具体的な取り組みを区政運営方針に掲載します。また、区将来ビジョンに掲げた将来像・施策に対する成果指標については、区政運営方針において進捗管理を行います。

(4) 熱田区将来ビジョン

熱田区では、この度「熱田区将来ビジョン」を策定するにあたり、熱田区区民会議などで区民の皆さまからのご意見をいただきながら、地域特性や課題の把握に努め、区のめざすべき姿の構築や展開していく施策などについて検討しました。

今後は、この熱田区将来ビジョンに基づき、さまざまな事業を計画し、毎年の区政運営方針で皆さまにお知らせします。



2 区の概要

熱田区は、昭和 12 年 10 月、10 区制の施行により誕生しました。「熱田」という地名の由来については諸説あり、日本書紀に記述のある吾湯市(あゆち)村が語源になっているという説が有力ですが、万葉集に詠まれた年魚市湊(あゆちがた)が語源になっているという説もあります。

名古屋市のほぼ中央南部に位置し、面積は 8.20 ㎢です。東は新堀川を境として昭和区・瑞穂区に、西は中川区に、南は南区・港区に、北は JR 中央本線あたりで中区に接しています。区の中央に堀川、東に新堀川が南流し、熱田台地とその周辺の低地からなります。

区内には、熱田神宮をはじめ断夫山古墳や白鳥古墳、また、江戸時代に街道一の賑わいをみせたといわれる宿場の面影を残す七里の渡し船着場跡(宮の渡し公園内)など、歴史的文化資産が数多く点在しています。

デザイン都市名古屋のシンボルともいえる名古屋国際会議場は、日本最大のコンベンション施設として平成 6 年に全館オープンしました。現在、国際交流の場として、国際会議・式典・コンサートなどに広く利用されています。

区の中心部を流れる堀川は、400 年程前に開削され城下町名古屋の発展を支えてきましたが、現在は兩岸の遊歩道や親水施設の整備がなされて、名古屋国際会議場、白鳥公園、白鳥庭園と一体となった快適ゾーンを創りあげ、名古屋のコンベンションの中心であるとともに、区民の憩いの場となっています。

区北部の金山地区は、平成元年に金山総合駅の完成、平成 16 年 10 月の市営地下鉄名城線の環状化、平成 17 年 2 月の中部国際空港の開港などにより、広域交通の結節点としての重要性がますます高まっています。

平成 30 年 4 月に「熱田神宮駅前地区まちづくり協議会」が、平成 31 年 4 月に「宮の渡し・大瀬子地区まちづくり協議会」が発足するなど、地域主体でまちづくりを考える動きがあります。



③ 熱田区の強みと課題

◇重層的に存在する魅力資産

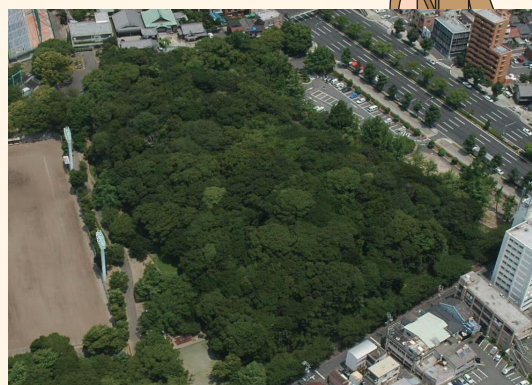
区内には熱田神宮のほか、断夫山古墳、白鳥古墳、高蔵貝塚などの遺跡や、江戸時代の面影を残す宮の渡しの常夜灯、中世の東西交通の要衝であったことをしのばせる道標、源頼朝の誕生の地といわれる誓願寺をはじめとする由緒ある神社仏閣など、数多くの歴史的資産が点在しています。

その歴史的資産に加え、新しい熱田の顔である名古屋国際会議場や白鳥庭園などにも、毎年多くの人を訪れます。

この他、区北部にある金山地区は、広域交通の結節点である金山総合駅を中心に商業施設が多くあるなど、たくさんの魅力資産が重層的に存在しています。



▲ 熱田神宮



▲ 断夫山(だんぷさん)古墳



▲ 名古屋国際会議場



▲ 白鳥(しろとり)庭園



◇高い交通の利便性

面積は、全区中 2 番目に小さく、世帯・人口はもっとも少ないコンパクトな区でありながら、国道 1 号線をはじめとする幹線道路や、複数の鉄道路線が乗り入れている金山総合駅をはじめ、市営地下鉄名城線の各駅(西高蔵駅・神宮西駅・伝馬町駅)、名港線の各駅(日比野駅・六番町駅)、J R 熱田駅、名鉄神宮前駅があり交通の便に優れています。

●金山総合駅

(乗り入れ路線)

- ◆市営地下鉄名城線
- ◆市営地下鉄名港線
- ◆J R 東海道本線
- ◆J R 中央本線
- ◆名鉄名古屋本線

●国道 1 号線(東京都～大阪府)

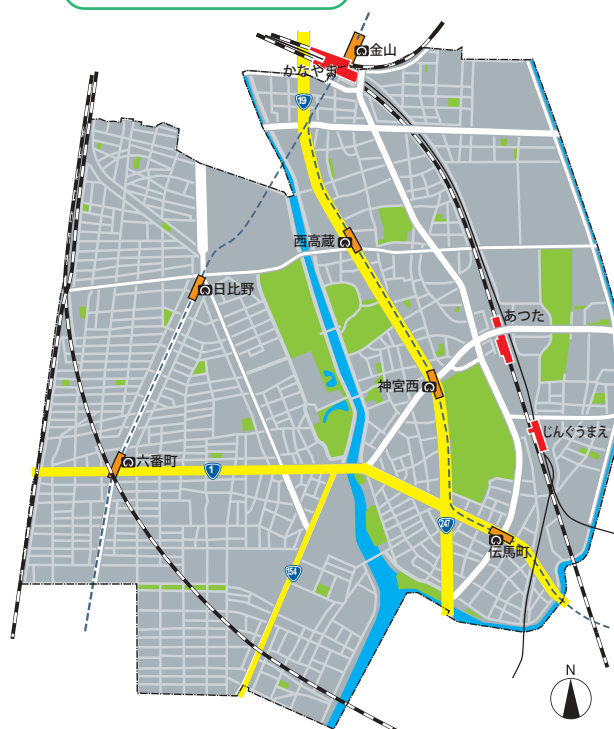
●国道 19・22 号線(熱田区～長野市、熱田区～岐阜市)

●国道 154 号線(名古屋港～熱田区)

●国道 247 号線(熱田区～愛知県豊橋市)

※中部国際空港(セントレア)ー金山駅：24 分

公共交通機関・主要道路

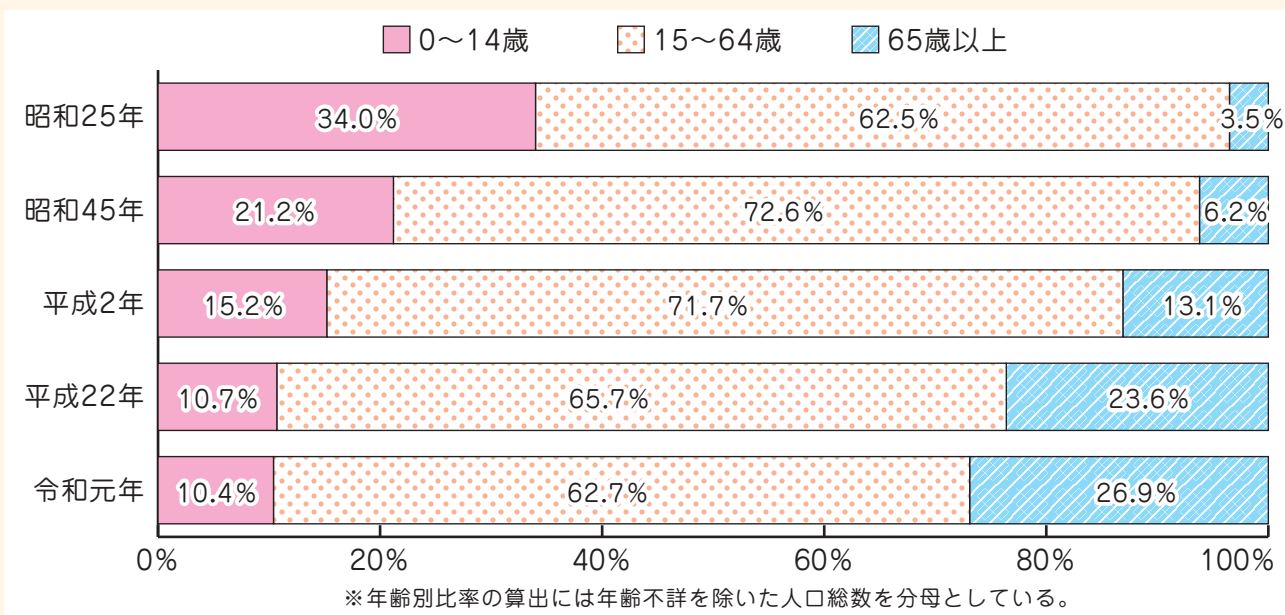


◇少子高齢化の進行

熱田区は、現代社会の傾向と同様に、0～14歳の人口比率が年々低く、また65歳以上の人口比率が年々高くなっており、少子高齢化が進行しています。また他区と比較しても、少子高齢化の度合いはより高いものです。

「ひとり暮らし高齢者」の割合も全市の平均よりも高いため地域全体で支え合う仕組みを作ることが求められています。

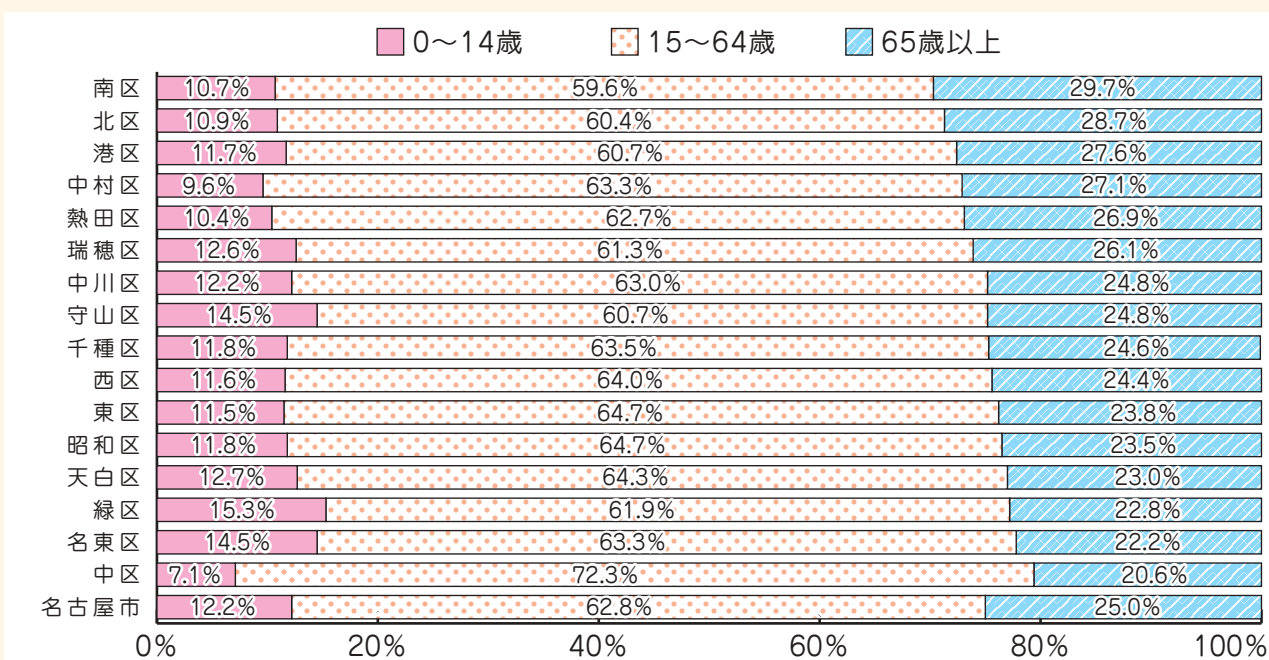
熱田区 年齢3区分別人口比率の推移



(各年 10 月 1 日現在)

「熱田区の世帯数と人口ー令和元年人口動向調査ー」より

各区 年齢3区分別人口比率 (令和元年 10 月 1 日現在)

(令和元年 10 月 1 日現在)市推計人口より
区の掲載順は、65 歳以上人口比率昇順

ひとり暮らし高齢者世帯の状況

1	2	3	4	5	全市
北区	南区	中村区	港区	熱田区	
12.274	11.383	10.696	10.588	10.288	

(令和元年 10 月 1 日現在)

平成 27 年国勢調査確定値に基づく推計人口及び

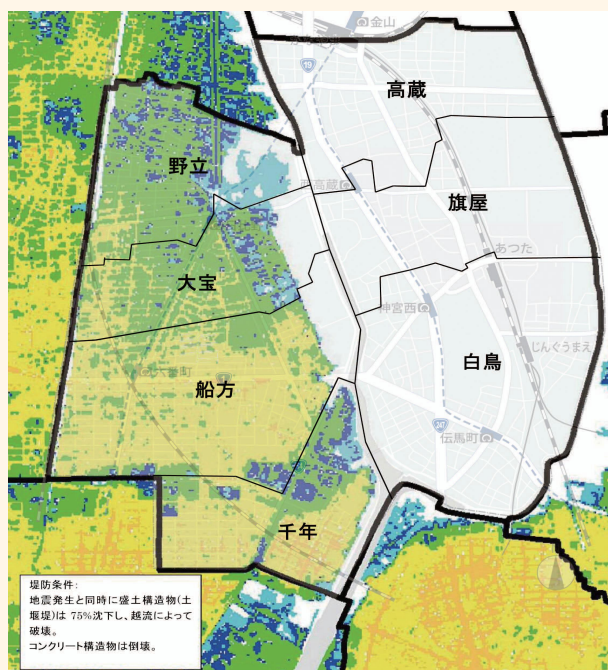
本市「ひとり暮らし高齢者の認定基準」に基づく調査等より



◇自然災害に対する懸念

南海トラフ巨大地震発生時の区内での最大震度は、6強と想定されています。

区西部で津波による浸水被害の発生が想定されています。



浸水範囲(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

* 千年に一度あるいはそれよりも発生頻度が低い、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震を想定。
(南海トラフで起こりうる最大規模)

浸水深(m)

- 2.0m 以上-3.0m 未満
- 1.5m 以上-2.0m 未満
- 1.0m 以上-1.5m 未満
- 0.5m 以上-1.0m 未満
- 0.3m 以上-0.5m 未満
- 0.3m 未満

本市「南海トラフ巨大地震の被害想定についてー震度分布、津波高等ー」より(熱田区で一部加工)



④ 基本目標とめざすべき将来像

基本目標

住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田

めざすべき将来像

将来像1 安心・安全で快適なまち

安全に、不安なく暮らすことは最も優先されるべきことであり、区民の皆さまが安心・安全で快適に暮らせるまちをめざします。



将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

子育てへの不安や負担を軽減し誰もが子どもを安心して産み育てることができ、子どもや若者が地域の中で健全に育つまちをめざします。



将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

子どもから高齢者、障害のある人などさまざまな地域の人々が交流と支え合いを通じて「生きがい」や「あったかさ」を感じられ、いきいきと暮らせるまちをめざします。



将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

熱田の特徴である古代から受け継いだ歴史や文化、自然など、地域の特性を活かしながら、地域の皆さまとともに活気あるまちづくりを推進します。



皆さまに信頼されるあったか区役所

区政運営

「元気に 明るく 人にやさしい 熱田区役所」のスローガンのもと、区民の皆さまに一番身近で信頼される区役所をめざします。



5 将来像の実現に向けた施策と成果指標

将来像1 安心・安全で快適なまち

施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進

区民の皆さまが犯罪や交通事故の被害にあわないよう、高齢者や子どもなど年代に合わせた意識啓発が必要です。

地域の皆さまや警察署をはじめとした区内公所（署）と連携し、犯罪のないまちづくり、交通事故のないまちづくりを進めます。

（現状・課題）

・区内の犯罪・交通事故の状況（平成30年中）

区分	刑法犯認知件数	交通事故死者数	人身事故件数
数値	796件	1人	367件
前年比	28件増	±0人	57件減

- ・交通事故の被害者に占める高齢者の割合が他の年代と比べ高い
- ・区内自転車等放置禁止区域における放置自転車（平成30年度）は136台（前年度比64台減）
- ・放置自転車は年々減少（10年前の約6分の1）、区域によっては前年度に比べ増加
- ・平成30年度末の区内空家の管理適正化未完了件数は32件（前年度末比4件減）

防犯対策

区の犯罪実態に即した犯罪抑止対策を毎年度策定し、地域の皆さまや警察署と連携しながら刑法犯の減少に向け啓発活動に取り組めます。

交通安全対策

地域の皆さまや警察署と連携しながら交通事故抑止に向け高齢者を中心とした啓発活動をはじめ年代に合わせた意識啓発に取り組めます。

放置自転車対策

放置自転車はまちの景観を損ねるだけでなく、歩行者の妨げとなり事故の要因ともなり得るため、地域の皆さまや大学などと連携しながら放置自転車の撲滅に向け啓発活動に取り組めます。

空家及びいわゆる「ごみ屋敷」対策

空家及びいわゆる「ごみ屋敷」はともに、周辺の生活環境に悪影響を及ぼすため、区民の皆さまが安心・安全で快適に暮らせるまちの実現に向けて、関係機関との連携や所有者への支援を行いながら解決をめざします。



■防犯講話



■交通安全キャンペーン



■自転車マナーキャンペーン

将来像 1 安心・安全で快適なまち

施策 2 災害に強いまちづくりの推進

近い将来発生が想定される南海トラフ巨大地震をはじめ、地域に起こりうるさまざまな災害への対策が重要な課題となっています。

地域団体や災害ボランティア団体、事業者、区内公所(署)との連携のもと、災害に強いまちづくりを進めます。

(現状・課題)

- ・備蓄品(食料、飲料水)を準備している人の割合は約4割、家具・家電などの転倒防止対策をしている人の割合は約3割(平成30年度なごや市民総ぐるみ防災訓練アンケート(熱田区))
- ・被害をより軽減するには、日頃から住民同士で助け合いながら地域防災力を高めることが必要
- ・大規模災害時には、市役所、区役所、消防署などの防災拠点が連携しながら早急かつ円滑に対応することが求められる
- ・金山総合駅などで多くの帰宅困難者の発生が懸念される

自助力の向上

戸別訪問により家庭の防災力を一層高めるとともに、各種防災訓練などによる日頃からの備えについて啓発活動を実施します。

家具などを自力で固定できない世帯からの申し込みにより、家具転倒防止ボランティアを派遣し、家具などの固定を実施するなど自助力の向上に取り組めます。



■家具固定の推進

共助力の向上

町内会ごとの自主防災組織の防災力を計画的・継続的に把握し、その状況に応じて訓練などを支援するとともに、災害時における地域と事業所の覚書締結による地域支援に関する協力体制を推進します。

地区防災カルテを活用した地域の話し合いなどの地域防災力を高める取り組みや、指定避難所運営の担い手づくりのための訓練などを継続して実施するなど共助力の向上に取り組めます。



■総合防災訓練

公助力の向上

区災害対策本部の機能強化のための各種訓練や、帰宅困難者対策、災害ボランティア団体と連携した訓練などを継続して実施するなど公助力の向上に取り組めます。

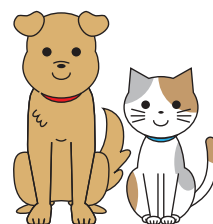


■区本部災害応急対策図上訓練

施策3 快適なまちづくりの推進

区内には拠点となる緑地が多く存在し、自然が身近に感じられます。

快適な生活環境をつくりだすために、地域の皆さまと連携して「町を美しくする運動」を進めます。また、ペットと快適に共生できるよう、飼い主へ適正な飼い方を普及啓発するなど、気持ちよく暮らせるまちづくりを進めます。



（現状・課題）

- ・町を美しく保っていくためには、地域の皆さま・企業・行政などさまざまな主体がそれぞれの立場で町の美化に配慮した活動に取り組むことが重要
- ・区が力を入れて取り組むべき課題として「ペットの飼い方のマナー向上」が毎年20%近く挙がっている（区民アンケート）
- ・犬、猫に関する苦情について、過去3年度平均114件（熱田保健センター受付）

町を美しくする運動

環境デーなごやなどの機会に、地域の皆さまや大学との協働により清掃活動を実施するとともに、管理が適切でない空地について所有者へ働きかけを行うなど、清潔で快適に生活できる環境づくりに努めます。



■クリーンキャンペーン

ペットの適正飼養啓発

ペットの飼い方のマナー向上のための啓発キャンペーンを地域と協働で実施します。また、区民の皆さまの防災意識が高まっている中、日頃からペットに対する災害時の備えについて、広く周知啓発に努めます。



■ペットの同行避難訓練

将来像1 安心・安全で快適なまち	現状値	目標値 令和5年度
人身事故件数	309件 (令和元年)	308件以下
家庭内において災害に対する備えをしている区民の割合	58.2% (令和元年度)	100%
ペットに関する苦情件数	114件 (過去3年度平均)	85件



将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

施策4 子育て支援

社会にとって、子どもは次の世代を担っていくかけがえのない存在です。思春期や妊娠期からの切れ目のない支援や虐待防止などの対策を充実していくことが求められています。

子どもを安心して産み育て、子どもが健やかに成長することができるよう子育て支援を進めます。

(現状・課題)

- ・熱田区の平成29年10月から1年間の出生数は509人(過去20年間ほぼ横ばいに推移)
- ・区人口に占める若年層(0～14歳)の比率は徐々に低下
- ・地域で行われている子育て交流会や育児で困った時の相談先、保育所に関する情報など、子を産み育てていくために必要となる情報は多種多様
- ・少子化や核家族化に加え、地域のつながりの希薄化などによる子育て中の親の育児への不安感や負担感の増大と育児の孤立化が問題

思春期や妊娠期からの支援

命の大切さや自分や相手を思いやる心を育むよう、すべての小中学校で生命の誕生や性について学ぶ思春期セミナーを実施します。

母子健康手帳発行時の面接や出生後4カ月頃までの新生児・乳児家庭訪問などを通して、子育てに関する相談や情報提供を行うなど、安心して出産・子育てに取り組めるよう支援します。



■思春期セミナー

子育て支援に係る情報発信

子育て家庭が求める情報をすぐに入手できるよう、子育て支援に係る情報を集約し、家庭への訪問の機会をとらえ、また多様な手段を用いてきめ細やかに発信していくことで、子育てしやすいまちとなるよう取り組みます。



■あつたっ子ひろば

子育ての仲間づくり

育児の不安や悩みを一人で抱え込まないよう、区内の保育所、児童委員、子育て支援団体などと連携し、子育てに関する親同士の仲間づくりと地域で子育てを支援する取り組みを進めます。

児童虐待の防止

児童虐待に関する身近な窓口として、虐待通告や相談に迅速に対応して実情把握に努めるとともに、児童相談所、警察、学校、保育所、地域、医療機関などの関係機関との連携を強化することで、児童虐待の発生予防及び早期発見・早期対応に努めます。

さまざまな機会を通じて虐待防止に関する啓発活動を推進し子どもを虐待から守るまちづくりを進めます。



■イライラしない子育て講座

将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

施策5 青少年健全育成の推進

心身の発達途上にある青少年は、社会環境からさまざまな影響を受けやすく、非行との関わりも心配されています。青少年が事故や犯罪に巻き込まれないような環境づくりが必要です。

地域の皆さまや学校、警察署をはじめとした区内公所(署)と連携して、青少年が地域の中で安心して健やかに成長できるまちづくりを進めます。



(現状・課題)

- ・少子化や核家族化の進行に伴い、子どもが年齢の違う子どもと触れ合ったり、地域の人々と接する機会が減少
- ・子どもが健全に成長・発達し、豊かな人間性や社会性を身につけるための環境づくりを、保護者と行政や地域などが協働して推進していくことが必要
- ・青少年を取り巻く状況は過去と比べて大きく変化しており、インターネットを介した有害情報の氾濫などの新たな課題が生まれている

子どもの健全な育成

子どもの社会性を養い、健全な育成と資質の向上を図ることを目的に、地域において活動している子ども会などを助成・支援し、子ども同士の交流や地域の中での健やかな成長を推進します。



■子ども会フェスティバル

事故や犯罪に巻き込まれない環境づくり

学校、地域団体、各種行政機関と協働し、情報交換を密にはかりながら、地域世話やき活動、青少年を守る運動、通学路パトロールなどでの声かけ・見守り活動を推進します。

事故や犯罪などに関する啓発を行うなど、事故や犯罪に巻き込まれない安心・安全な環境づくりを行います。



■地域の世話やき活動

将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち	現状値	目標値 令和5年度
子育てしやすいまちだと思う区民の割合	81.5% (令和元年度)	85%
児童虐待死者数	0人 (令和元年度)	0人

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

施策6 生涯学習の振興

心の豊かさや生きがいを実感することや、社会の変化に対応するための知識や技術を学ぶことが求められる中、誰もがいつでも自由に学び、その成果を活用できる社会をめざすことが重要となっています。さらに、区民の皆さまが自主的にスポーツや文化活動を楽しむことは、区民相互の交流・ふれあいの場を増やし、地域社会のきずなを強めることにもつながります。

区民の皆さまが、生涯にわたり、さまざまな機会と場所においてスポーツや文化活動を身近に親しむことができるよう、地域のスポーツ団体・文化団体などとの協働を進めます。

(現状・課題)

- ・人生百年時代を迎え、心身ともに健康に過ごすため、誰もがいつまでも「生きがい」を実感し、生活していける社会の実現が求められている
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び2026年の第20回アジア競技大会の開催などにより、スポーツに対する関心が高まっていくことが予想される

文化活動の振興

若年層を含むより幅広い年齢層へ生涯学習の必要性を訴えるとともに、文化団体の活動を支援することで、区民の皆さまが心豊かに生活できる地域社会の実現をめざします。



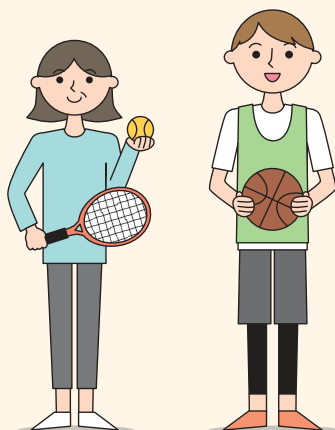
■春のいけ花展

スポーツの振興

年齢・性別を問わずスポーツ大会や健康増進イベントへの参加の増加も見込まれることから、地域スポーツ団体と協働し、各種スポーツ大会などを開催するとともに、スポーツの意義やスポーツに関する知識の啓発事業に取り組みます。



■スケート教室



将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

施策7 区民の健康づくりの推進

平均寿命が延びるなか、いつまでも住み慣れた地域において、健康で心豊かな生活を送るうえで、健康寿命※を延ばすことが重要となります。

平成25年度からの健康なごやプラン21（第2次）の目的である健康寿命の延伸をめざし、区民の皆さまの自主的な健康づくりを進めます。

※ 本市介護保険の情報に基づく「日常生活動作が自立している期間」をさす

（現状・課題）

- ・他区と比較し高齢化率が高く、また学区間の格差が大きい
- ・健康寿命は名古屋市の平均より短い（平成28年時点）

（男性：名古屋市 79.31 年 熱田区 78.31 年、女性：名古屋市 83.51 年 熱田区 83.30 年）

健康づくりの推進

健康寿命の延伸に向けて、地域の特性に応じた心身の健康づくりに関する効果的な情報提供や発信を行い、知識の普及啓発を進めます。こころの健康づくりについては、専門職による健康相談などを行い、充実に努めます。

区民自らが健康に対する意識を高め、世代間交流や仲間づくりなど身近な場所で継続した健康づくりが行えるよう支援します。



■出張健康相談

施策8 地域福祉の推進

価値観が多様化し少子高齢化が進むなか、一人ひとりが社会の一員として自覚を持ち、社会と結びつき支え合いながら、生きがいを持って生活することは大切なことです。

地域における人と人とのつながりが希薄化するなか、区民の皆さまが住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、互いに支え合い、助け合う仕組みづくりを進めます。

（現状・課題）

- ・他区と比べて人口の流動が少なく、昔からの顔なじみが多く比較的つながりが残っている
- ・少子高齢化が進み、子育てや介護、災害、孤立などさまざまな課題が顕在化
- ・これらの解決や改善には、地域での支え合いが不可欠

地域福祉活動の支援

これからもすべての人が住み慣れた地域で安心して幸せに暮らしていけるよう、地域の皆さま、社会福祉協議会、行政などが一体となって策定した第4次熱田区地域福祉活動計画を指針として、互いに支え合い助け合う、「ぬくといつなぎのあるまち」づくりを地域の皆さまと共に進めます。



■「第4次熱田区地域福祉活動計画」冊子

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

施策9 高齢者への支援

今後ますます高齢化が進み、さらにひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれています。

さまざまな活動を通して、高齢者の生きがいづくりや仲間づくり、地域における支援や認知症対策・虐待防止対策に取り組むことで、住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

(現状・課題)

- ・今後少子化・高齢化が進行し、人口減少社会を迎えていく中で、高齢者になっても健康ではつらつと暮らすことができるとともに、高齢者がその知識・経験を活かし、社会の担い手として活躍できる環境づくりをさらに進めることが必要
- ・近い将来 65 歳以上の 1/5 が認知症を発症すると言われている
- ・いきいき支援センターに寄せられる認知症に関する相談も年々増加し、深刻な内容も増加

高齢者の健康づくり・社会参加

「いつまでもいきいきと元気で長生き」をめざし、健康づくりや介護予防、虐待防止の面からも外出のきっかけづくりや仲間づくりなどの機会を充実させることにより、積極的に社会参加できるよう支援します。



■サロンの開設・運営支援

認知症の方や家族への支援

認知症への正しい理解をもって地域で支える仕組みづくり、家族支援の充実など、認知症施策を行政だけではなく介護保険関係事業者や認知症養成講座を運営するキャラバン・メイト※、認知症サポーターなどの住民も含めて一体的・総合的に推進します。

※認知症サポーター養成講座の講師役であり、所定の養成講座を受講し登録された方



■認知症講演会



将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

施策10 地域包括ケアシステムの推進

介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるシステム(地域包括ケアシステム)の構築を進めます。

(現状・課題)

- ・高齢化の進行に伴って支援を必要とする高齢者は年々増加し、団塊の世代が75歳以上となる令和7(2025)年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれている

地域包括ケアシステムの推進

行政・医療機関・介護保険関係事業者・住民などが協力し合い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための体制づくりを進めていきます。

介護予防・認知症予防においては、周知啓発をはじめ高齢者の自発的・継続的な取り組みを促進します。また、幅広い世代において、地域での助け合いや支え合い活動への参加意欲のある人を実際の活動参加に結びつけることで地域のつながりを深め、地域で高齢者を支援していく土壌づくりを推進します。



■地域包括ケア推進会議



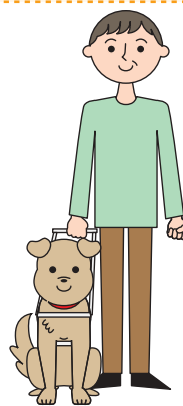
出典：第7期名古屋市長寿福祉計画・介護保険事業計画
はつらつ長寿プランなごや2018(概要版)

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

施策11 障害者への支援

「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会」が求められています。そのため、障害のある人が社会の一員としてさまざまな活動に参加できる地域づくりが必要です。

障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、障害のある人の自立と社会参加を促す取り組みを地域全体で進めるため、区民の皆さま、障害のある人、関係団体、事業所との幅広い協働に努め生活支援、防災対策、差別解消などを中心に障害者支援を進めます。



(現状・課題)

- ・障害のある人で就労を希望しない理由は「障害のため働くことができないから」が44.9%、差別経験が「ある」と答えた割合は18.7%(名古屋市障害者基礎調査(平成28年度))
- ・障害者への理解が十分ではないことや、障害者が福祉事業所などで制作した授産製品の販売場所の確保が難しいこと、知名度が低いことが課題
- ・互いの理解を深めながら、行政・事業者・区民が一体となり差別解消に向けた取り組みをより一層発展させていくことが必要

障害者の自立支援と社会参加

障害者自立支援連絡協議会と協働し、さまざまな契機において授産製品の販売や講習会の開催などを行い、障害者の自立支援と社会参加及び障害に対する理解の促進を図ります。



■授産製品の販売

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち	現状値	目標値 令和5年度
健康づくりに取り組んでいる区民の割合	74.9% (令和元年度)	80%
高齢者虐待死者数	0人 (令和元年度)	0人
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	5,224人 (令和元年度末)	7,812人
授産製品を購入したことがある区民の割合	17.3% (令和元年度)	25%



将来像 4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

施策 12 あつたの魅力向上・魅力発信

熱田に住む人々や訪れる方々が、重層的に存在する熱田の魅力を知り、この地がさらに活気あるまちへと発展していくために、歴史的資産をはじめとするさまざまな魅力資産を区内外に発信します。そして、区民の皆さまの熱田の地に対する誇りや愛着を醸成し、区外からより多くの方々が訪問されるような、にぎわいあるまちづくりを進めます。

（現状・課題）

- ・熱田は、交流・交易の拠点として栄えた歴史を持ち、現在も複数の幹線道路、地下鉄・JR・名古屋鉄道の駅があり、交通の便に非常に優れている
- ・歴史や文化、自然など、多くの魅力が重層的に存在
- ・幹線道路、河川、鉄道により魅力資産が分断されてしまっているため、熱田全体の魅力としては、回遊性の面で十分に伝えられていない可能性がある

にぎわいを創出する事業

「区民まつり」での区民相互の親睦や「あつたか！あつた魅力発見市」での区外から訪問される方々へのおもてなしなど、ふれあいと交流の場を作っていくことで、心の豊かさやぬくもりが感じられるまちづくりをめざします。

熱田の魅力の情報発信

重層的に存在する熱田の魅力を、多くの人に発信し次世代につなげていきます。

熱田の魅力を再発見・再編集し、「熱田ブランド」として一体的に発信します。



■区民まつり「文化祭」



■あつたか！あつた魅力発見市



■熱田ブランドマーク



■区の特性に応じたまちづくり事業

将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

施策13 地域活動への支援

身近な地域課題に対応し、住みやすく愛着の持てる区、魅力ある区を作るためには、地域コミュニティの活性化は、不可欠です。また、これまでの行政主体のまちづくりから、それぞれの課題や魅力を踏まえた多様な主体によるまちづくりの重要性が高まっています。

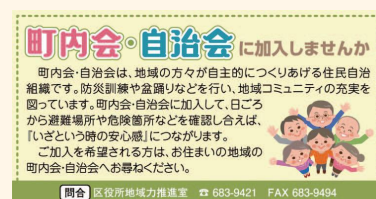
区内で地域のために活躍している地域活動の担い手の方々を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。また、熱田の魅力を広く内外に伝えたい、次世代へ継承していきたいという「あつた人(びと)」のまちづくりの取り組みを一層進めるため、関係部署と連携しながら活動を支援します。

(現状・課題)

- ・少子高齢化や人口減少社会の到来により、地域のつながりが求められている
- ・防犯対策、ひとり暮らし高齢者の見守り、大規模災害に対する備えなど地域における支えあいの構築が課題
- ・上記課題の解決に向けて、行政とともに区民の皆さまや地域の各種団体が協力しながら取り組んでいくことが大切
- ・熱田の魅力を広く内外に伝えたい、次世代へ継承していきたいと、まちづくりに取り組む団体が数多く精力的に活動

地域コミュニティの活性化

地域コミュニティの活性化のために、地域のために活躍している町内会・自治会といった地域団体の重要性を訴え、区民の皆さまが地域活動へ参加するよう促します。



町内会・自治会加入促進の支援

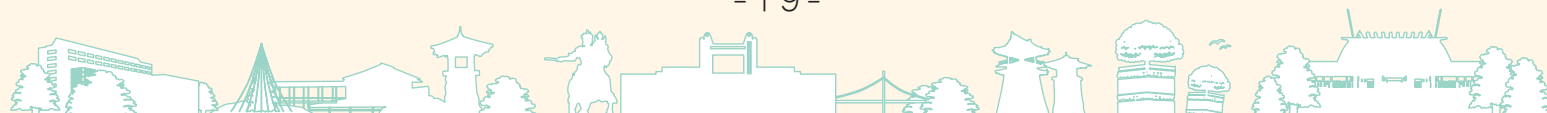


■あつた堀川一斉清掃と子ども乗船体験

まちづくり団体などの活動支援

多様な主体によるまちづくりの取り組みと「あつた人(びと)」の広がりを一層進めるため、その活動を支援し、協働で実施していきます。

将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち	現状値	目標値 令和5年度
熱田区を魅力的だと思える区民の割合	88.9% (令和元年度)	93%
熱田ブランドマークの認知度	41.7% (令和元年度)	50%



施策 14 区民サービスの向上

生活に密着した行政サービスを提供している区役所は、区民の皆さまの目線に立った、サービスの充実が求められています。

利用しやすく快適な区民サービスを提供するため、接遇研修などを実施し、職員のホスピタリティ意識を高めます。また、区政をとりまく情勢の変化に的確に対応し、区民の皆さまの期待に応えていくために業務改善を推進し、さらなる区民サービスの向上に努めます。

（現状・課題）

- ・99%のお客さまから窓口の対応に対して満足と回答(平成30年度窓口アンケート)
- ・職員一人ひとりの主体的な能力向上に継続的に取り組むことが必要
- ・区民の皆さまの目線に立った業務改善の推進が必要

接遇

区役所の窓口において、区民の皆さまが円滑に要件を済ませられるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけます。また、お客さま満足度向上のための接遇研修を実施します。

業務改善

区役所の窓口において、より質の高い行政サービスの提供が受けられるよう、積極的な業務改善に取り組みます。

区役所独自に業務改善事例選考会「あつたカップ」を開催して各課からの事例を集約し、さらなる業務改善につなげます。



■接遇研修

施策 15 区民ニーズの把握

住みやすく愛着の持てるまちづくりを進めるには、区民の皆さまの区政への参画を推進し、区民の皆さまとの相互理解のもと区政を運営していく必要があります。

区民アンケートや区民会議、学区懇談会などを通じて、多様化するご意見やニーズを把握し区政への反映に努めます。

（現状・課題）

- ・区役所が区民のニーズや課題の把握に努めているかという問いについて、「まあそう思う」「そう思う」合わせて75.7%(令和元年度区民アンケート)

意見聴取

区民アンケートや、区民会議や学区懇談会といった意見聴取を目的とした会議だけでなく、地域の方が集まる各種会議においても意見聴取に努め、日々の地域の皆さま方との関わりの中で聴こえるお声にも誠意を持って対応し、ニーズ把握に努めます。



■区民会議

区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所

施策 16 区民への情報提供

区民の皆さまに区政に関する情報をお伝えすることは、とても重要なことです。
さまざまな情報媒体を活用し、目的に応じた情報を提供することで、区民の皆さまにとって見やすく、わかりやすいPRに努めます。

(現状・課題)

- ・令和元年度区民アンケートにおいて、熱田区に関する情報の主な入手先として、広報なごや区版や町内会回覧など紙媒体が多く挙がっている
- ・今後力を入れるべき情報提供手段としては、広報なごや区版などのほか、電子媒体である区ツイッターや区ホームページもニーズとして挙がっており、情報提供手段のニーズは多様化している

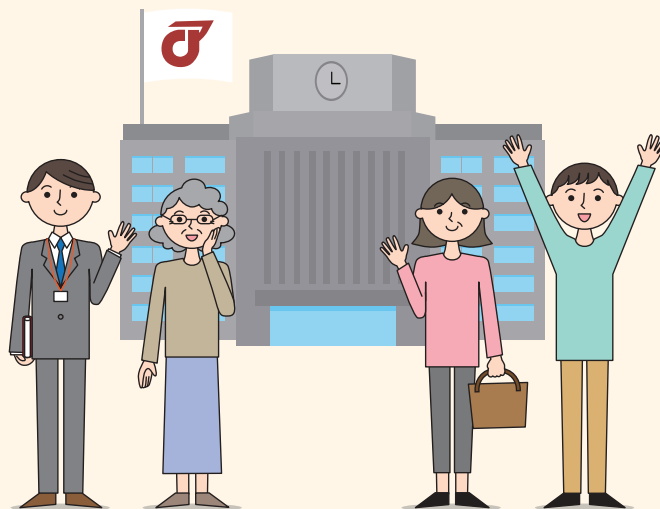
積極的な情報発信

変化の著しいニーズを的確にとらえ、広報なごやの他にもさまざまな媒体を活用し、利用しやすくわかりやすい広報を推進します。



■熱田区公式ツイッター

区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所	現状値	目標値 令和5年度
窓口アンケートのお客さま満足度	96.7% (令和元年度)	100%
区民ニーズの把握に努めていると思う 区民の割合	75.7% (令和元年度)	85%



⑥ 区内公所（署）の施策

熱田消防署

地域防災マネジメント事業の推進

防災用品配付による戸別訪問、家具固定ボランティアの養成及び派遣、家庭における自助力の促進啓発

防災安心まちづくり事業の推進

住民参加型の防火防災活動、地域と事業所との覚書締結と相互の連携活動の推進、自主防災組織の防災力に応じた活動支援

火災予防体制の充実

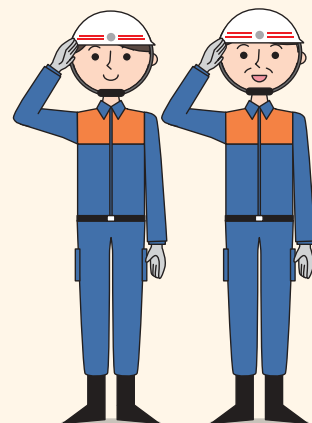
高齢者世帯への個別訪問、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の普及促進、社会福祉施設など事業所の立ち入り検査の実施

消防・救助活動の強化

消防隊員の活動能力の向上、区内大規模事業所との連携の充実、消防隊との連携訓練などを通じての消防団員の活動能力の向上

救急救命活動の充実

救急隊員間の活動技術の向上、救急業務高度化に対応できる救急隊員の養成、AED活用を含む応急手当救命講習の実施



■ 関連する区将来ビジョン施策

- 施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進
- 施策2 災害に強いまちづくりの推進

熱田土木事務所

安心して安全に利用できる道路や公園などの提供

道路、橋、河川、公園などにおけるパトロールによる危険箇所の早期発見と適切な維持管理の実施、放置自転車の撤去、計画的な整備工事などの実施、大規模災害時の主要交通道の確保

■ 関連する区将来ビジョン施策

- 施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進



熱田環境事業所

ごみ・資源の分別推進

環境事業所・各学区の保健環境委員を中心とした市民への排出指導、市民の分別意識向上への取り組み

古紙持ち去り防止の普及啓発

持ち去り防止パトロールの実施、古紙持ち去り防止条例の周知、集団資源回収実施団体の指定の推進

不法投棄の防止

パトロールの実施、地域及び警察と連携した被害現場の調査など

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策3 快適なまちづくりの推進

熱田区校長会(熱田区内の小・中・特別支援学校の校長で構成)

子ども一人ひとりの個性を大切に、社会で活躍できる力の育成

基礎的・基本的な知識・技能の習得と、自ら考え、判断し、表現するなど幅広い学力の育成

人権を尊重し多様性を認め合う心、豊かな感性と創造力、社会の一員としての規範意識や自覚の育成

望ましい生活習慣を身に付け、生涯にわたってたくましく生きるための心身の育成
多様な教育的ニーズに対応したきめ細かな支援

子どもや教職員のための良好な教育環境の整備

豊かな人間性と確かな指導力をもった教職員の育成

教職員がいきいきと教育活動に取り組むための環境の整備

学校・家庭・地域が共に子どもの豊かな育ちを応援する体制の整備

子どもの針路を応援するため、一人ひとりの発達過程の支援

いじめや不登校などの未然防止と早期発見・解決への取り組み

親子のふれあいと家庭の教育力向上の支援

地域と共に子どもの見守り育成

生涯を通じた学びの支援

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策4 子育て支援

施策5 青少年健全育成の推進

施策6 生涯学習の振興



上下水道局中川営業所

防災意識の啓発

飲料水備蓄の促進を目的とした災害用備蓄飲料水「名水」の販売
小中学校に設置された地下式給水栓の操作方法や、二次元コードを利用した応急給水施設開設状況の登録方法の周知

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策2 災害に強いまちづくりの推進

熱田図書館

図書館の利用促進・地域の情報発信基地としての機能の強化

熱田の歴史など地域の特性に対応した行事・展示の実施、地域資料の収集、地域の子ども読書活動の推進

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策5 青少年健全育成の推進

施策6 生涯学習の振興

熱田区社会福祉協議会

第4次熱田区地域福祉活動計画を指針として、「ぬくといつなりのあるまち あつた」をめざす

地域福祉活動の推進、ボランティア活動の振興、在宅サービスセンターの運営、福祉関係団体などとの連携・活動支援、デイサービスセンターの運営、共同募金運動への協力、熱田区いきいき支援センター運営事業への協力、熱田区介護保険事業所(居宅介護支援、訪問介護)への協力、第4次熱田区地域福祉活動計画推進プロジェクトの推進、熱田福祉会館・児童館の管理・運営

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策4 子育て支援

施策8 地域福祉の推進

施策9 高齢者への支援

施策10 地域包括ケアシステムの推進

施策11 障害者への支援

交通局名城線運転区

安心・安全の推進(安全対策の強化)

地下鉄駅における可動式ホーム柵の整備(ホームにおける安全性の向上を図るため、名城線・名港線において定位置に車両を停止させるための車両改造などを行い、名城線・名港線34駅に可動式ホーム柵を設置)



交通局鳴尾営業所(熱田区内では、熱田巡回系統などのバス路線を運行)

快適・便利の向上(わかりやすく利用しやすい環境づくり)

バス車内への液晶式停留所名表示器の設置拡大(購入する新車バス車内に液晶式停留所名表示器を設置)

熱田文化小劇場

区民が文化芸術に触れることのできる機会の提供

令和2年度4月1日～3月15日まで天井等落下防止対策工事のため休館
休館中はイオン熱田のステージイベントなどのアウトリーチ事業を実施し、再開後にはコンサートを開催

■ 関連する区将来ビジョン施策

施策6 生涯学習の振興

熱田生涯学習センター

学習機会の提供

地域の生涯学習の拠点として、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をめざし、さらに熱田ブランドの魅力発信の観点に立ち、現代的課題、なごや学、親学、青少年育成、趣味実技、マイスター養成などの講座や事業を開催、教えたい市民・学びたい市民のために「なごやか市民教室」などを開催

自主学習グループ活動の奨励・支援

自主学習グループの発足や運営などの支援、学習成果の発表や情報交換・交流の場として「熱田生涯学習まつり」を開催

生涯学習情報の収集や提供・学習相談

生涯学習に関する情報提供や自主学習グループの活動紹介、窓口や学習相談コーナーを通して細やかな学習相談を実施

安心・安全に利用され、親しまれる施設運営

利用者の意見や要望を把握しながら、地域の生涯学習施設として市民が安心・安全に親しみをもって利用できるように、施設の管理運営に関して積極的に工夫・改善に努める

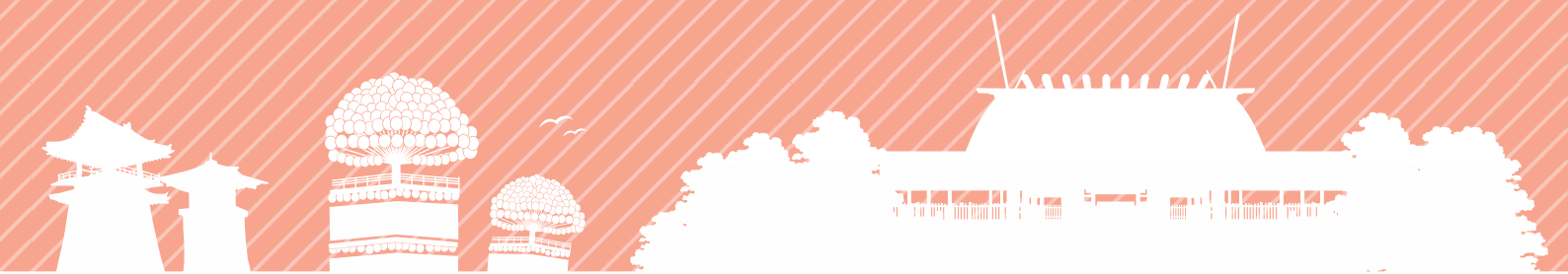
■ 関連する区将来ビジョン施策

施策5 青少年健全育成の推進

施策6 生涯学習の振興

施策12 あつたの魅力向上・魅力発信





区政へのご意見やご提案、「こんな熱田区にしたい」など、
皆さまのご意見をお寄せください。

熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目 1 番 15 号

TEL：052-683-9688

FAX：052-682-1496

E-mail：a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp

<http://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

